

Glypican-3 (GPC3) 受託測定サービス

Glypican-3 (GPC3) は主に肝細胞癌で発現していることが知られている胎児性膜抗原蛋白質です。GPC3は細胞増殖因子と結合することで細胞増殖や分化を制御しており、癌細胞の悪性化に関与していると考えられています。シスメックス株式会社ではこの血液中に放出されたGPC3の中でも、特に全長型GPC3を高感度かつ特異的に測定可能な手法を構築し、測定を受託することが可能になりました。

図1 GPC3のイメージ図

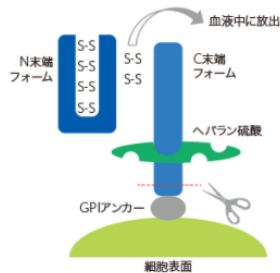


図2 検量線データ⁷⁾

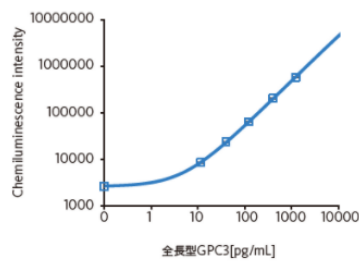


図3 検体測定結果(1)⁷⁾

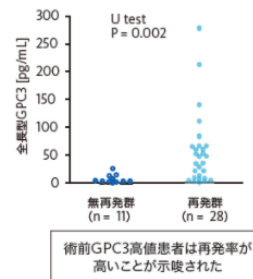
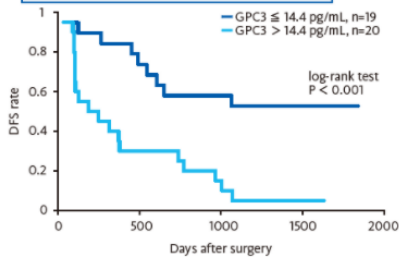
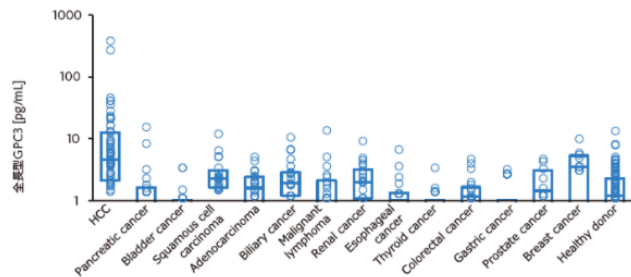


図4 検体測定結果(2)⁷⁾



手術後、4年以内に再発する患者において、術前血中のGPC3は高値となることが考えられる

図5 検体測定結果(3)⁸⁾



全長型GPC3は健康人や他癌腫と比べ肝細胞癌で高発現している

シスメックス株式会社ホームページより引用

※本サービスは研究用のため、診断に用いることはできません。

検体種：EDTA血漿、必要量100 μ L、送付条件：冷凍

お問い合わせ先：

株式会社免疫生物研究所 営業部

TEL:0274-50-8666、e-mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp

